

日米豪印フェローシップについて（周知）

昨年9月に開催された日米豪印首脳会合において、4か国の首脳レベルの合意により日米豪印フェローシップの創設が発表されました。このフェローシップは日米豪印4か国の科学、技術、工学及び数学分野（STEM分野）における優れた学生が米国の大学院で修士号ないし博士号取得を目指すにあたり奨学金を支給するものです。

このフェローシップの運営・管理は米国のシュミット財団（Schmidt Futures）が行うこととなっており、この度、フェローシップのウェブサイトが立ち上がりました。

3月17日（木）から募集が開始され、同ウェブサイトからのオンライン申請での受付が可能となりました。

日本の学生の皆様にも積極的に申請いただきたいと考えておりますので、貴大学の関係学部等に下記のフェローシップの情報の周知をお願いします。

なお、フェローシップの詳細については、下記のウェブサイト（APPLY部分の他、FAQ部分に個別の記載があります）を確認するよう併せお伝えいただきたくよろしく申し上げます（随時、情報が更新される予定）。

記

日米豪印フェローシッププログラム概要：

（2022年3月17日現在、ウェブサイトに掲載されている主な情報の仮訳です。）

1 対象者（申請資格）

- ① 申請時に18歳以上、②日米豪印国籍者ないし合法的永住者、③2023年8月迄にSTEM分野の学士を有する者、④学部レベルで優秀な学業成績を修めていること、等

2 フェローシップ内容

- ①奨学金5万ドル（授業料、研究・教育関連経費等）及び米国との往復航空賃を支給。さらに大学院レベルの研究に必要な場合、別途上限2.5万ドルまでの支給申請が可能。
- ②トップレベルの科学者、技術者、政府指導者との関係構築の機会を提供。

3 申請方法

- ①オンラインによる申請。

②申請者情報、申請目的を述べた書類及びエッセイ2本、推薦状3通（うち2通は申請者の学力を説明できる教授、残り1通は職場関係者又は他の学識経験者）、高等教育機関の完全かつ公式な記録（原本及び英訳）、英語能力証明書類（TOEFL等）等を提出。

4 選考プロセス

①書類選考、②個人面接、③パネル面接（最終）を実施。

5 選考基準

STEM分野での優秀な学業成績、②科学、社会及び公共政策に関与する熱意、③文化、社会経済及び職業的背景が異なる個人間の人脈の構築能力、④成果志向。

6 スケジュール

2022年3月17日に下記7の日米豪印フェローシップウェブサイトでは申請受付を開始し、6月1日に募集締め切り。2022年10月頃に採用者を発表予定。2023-2024年開始の大学院課程から奨学金を受給予定。

7 照会先

日米豪印フェローシップウェブサイト(英語): www.quadfellowship.org

照会先: info@quadfellowship.org

【関連情報】

外務省ホームページ（第2回日米豪印首脳会合）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/nsp/page4_005424.html

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100238176.pdf>

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100238180.pdf>

【本周知作成元】（※本フェローシップの詳細についての問い合わせは上記7へ照会下さい。）

外務省大臣官房人物交流室

電話：03-3580-3311

文部科学省大臣官房国際課

電話 03-5253-4111